

2017
夏
第186号

しろいし 市議会だより



〔表紙写真〕

2020東京オリンピックに向け、白石市と柴田町、白石市・柴田町・仙台大学東京オリ・パラ事前合宿招致推進協議会がベラルーシ体操協会と事前合宿を行うための協定を締結しました。(6月14日 ホワイトキューブ)

- 2～3P 6月定例会の概要・審議した議案
- 4～5P 予算審査特別委員会
- 6～10P 市政に対する一般質問(9名)
- 11P 意見交換会
- 12P 人事・議員表彰・編集後記



ホワイトキューブの会場を視察

6月定例会

一般会計補正予算など21議案を可決

平成29年6月定例会は、6月9日から6月21日までの13日間の日程で開催されました。市長提出議案は、人事2件、専決5件、条例等10件、予算2件の計19件でした。定例会初日、第37号議案から第43号議案が提案され、表決の結果、全会一致で同意・承認しました。

2日目、第44号議案から第55号議案までの質疑が行われ、条例等の10議案は、表決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。予算の2議案は、予算審査特別委員会に審査が付託されました。

一般質問は、6月19日と6月20日の2日間で、9名の議員が質問を行いました。定例会最終日（6月21日）の本会議において、委員長報告を行った後、第54号議案及び第55号議案は、いずれも全会一致で原案のとおり可決しました。

また最終日に、市長提出議案2件が追加提案され、質疑を経て、表決の結果、全会一致で可決しました。



市長の提案理由説明

審議した議案の主なものは次のとおりです。

条例等

◎白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

本年3月に発覚した職員の不祥事による管理監督責任として、平成29年7月に支給する市長及び副市長の給料月額を10%減額するため、条例の一部を改正するものです。

◎あっせんの申立てについて

東京電力福島第一原子力発電所事故により生じた事故被害対策経費のうち、東京電力が賠償に應じない平成26、27年度分の事故被害対策経費及び先の和解で対象外とされた専従職員の給与について、原子力損害賠償紛争解決センターに和解の仲介を申し立てるものです。

○申立て予定額
1億7千672万3千635円
及び遅延損害金

6月定例会で審議した議案		
議案番号	件名	審議結果
第37号	市長提案 農業委員会委員の任命について	同意
第38号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意
第39号	専決処分の承認を求めることについて（専決第1号） （白石市市税条例等の一部を改正する条例）	承認
第40号	専決処分の承認を求めることについて（専決第2号） （白石市国民健康保険条例の一部を改正する条例）	承認
第41号	専決処分の承認を求めることについて（専決第3号） （平成28年度白石市一般会計補正予算）	承認
第42号	専決処分の承認を求めることについて（専決第4号） （平成28年度白石市国民健康保険特別会計補正予算）	承認
第43号	専決処分の承認を求めることについて（専決第5号） （平成28年度白石市下水道事業会計補正予算）	承認
第44号	字の区域を変更することについて	承認
第45号	白石市防災センター条例	承認
第46号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市税の減免に関する条例の一部を改正する条例	承認
第47号	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する白石市介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例	承認
第48号	白石市企業立地及び事業高度化を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	承認
第49号	白石市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	承認
第50号	白石市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	承認
第51号	あっせんの申立てについて	承認
第52号	白石市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例	承認
第53号	白石市立学校施設の開放に関する条例の一部を改正する条例	承認
第54号	平成29年度白石市一般会計補正予算（第1号）	承認
第55号	平成29年度白石市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	承認
第56号	財産の取得について	承認
第57号	平成29年度白石市一般会計補正予算（第2号）	承認

※意見（賛否）が分かれた議案はありませんでした。
※これら審議した議案の他、主要な議題として、議長辞職の件が最終日に追加され、採決の結果、否決されました。賛否一覧は12ページに記載しています。

◎財産の取得について (定例会最終日提案)

農商工連携を核とした賑わい交流拠点整備事業用地として取得するもので、条例の規定に基づき議会の議決を求めるものです。

所在 白石市福岡長袋字八斗
地積 5千338・27㎡
地積 5千338・27㎡

予算

◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第1号)

これまでの歳入歳出予算をそれぞれ7億7千242万3千円追加し、予算総額を161億8千824万6千円とするものです。

主な内容は次のとおりです。

○旧学校給食センター等解体工事 6千789万4千円

○白石城関連改修・整備工事 3千350万円

○子育て支援・多世代交流複合施設整備事業 3億9千762万7千円

○放射能汚染対策事業 1千178万7千円

○インバウンド推進事業

2千642万2千円

○弥治郎こけし村太鼓橋架け替え工事 2千94万3千円

◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第2号) (定例会最終日提案)

これまでの歳入歳出予算にそれぞれ1億7千51万2千円を追加し、予算総額を163億5千875万8千円とするものです。

本会議質疑より

【質疑】子育て支援・多世代交流複合施設整備事業について、今回の補正予算に計上した理由、概要を伺う。

【答弁】国の地方創生拠点整備交付金の第2回募集に際し、新たに子育て支援施設が対象施設として追加されたことから、今回申請し、5月31日付

で交付決定を受けたものである。

この事業は、若い世代を中心とした定住支援、子育て支援の強化を図り、さらに多世代の人々が交流体験することによる魅力ある地域づくりの推進を目的としている。

福岡長袋字八斗跡地内の学校給食センター跡地を再活用し、大型遊具を設置した年代別の遊戯コーナー、読み聞かせや活動発表ができる多世代交流コーナー、絵本コーナーなどを備えた子育て支援施設を整備するものである。

【質疑】この事業用地において、子育て支援施設のほか、一体的な施設を整備する考えはあるのか伺う。

【答弁】隣接地については、現在、白石市土地開発公社で土地を取得しており、当該地域を一体的に整備、利活用することを考えている。

子育て支援施設のほか、農商工連携として農産物等販売施設や食事提供施設、6次産業加工施設など、これらの施設により親子で遊んだり、家

族で食事ができるような新たな賑わいの総合施設として計画をしている。

【質疑】弥治郎こけし村太鼓橋架け替え工事について、工事を行う具体的な経緯と内容を伺う。

【答弁】平成6年4月に開館した弥治郎こけし村の太鼓橋は老朽化が進んでおり、多くの観光客に安心して楽しく施設を利用いただくため、今回、工事を行うものである。

測量設計では、こけし村の指定管理者である弥治郎こけし業協同組合の意見を反映し、どのような工法、部材での架け替えが維持管理上、適切であるか検証しており、その検証を考慮した上で、安全性、耐久性及び効率性を踏まえた設計としている。

【質疑】架け替え工事について、もっと低額でリニューアルすることはできなかったのか伺う。

【答弁】安全性を重視し、各種基準に基づいた設計としているが、橋の下部、桁下には

ガスなどのライフラインが集中しているため、地上からの施工は困難である。

工事は、クレーンによる現況橋梁の撤去、新設橋梁の敷設など、安全性と工事期間の短縮を図りながら効率性をもったものとしており、また、県の補助事業として採択を受けるには、安全性が最重要視される。

安心・安全を図るため、事故などを起こさないことが最も重要と考えることから、それらを考慮した予算を計上したものである。



架け替え予定の太鼓橋（弥治郎こけし村）

予算審査特別委員会

第54号議案・平成29年度白石市一般会計補正予算(第1号)及び第55号議案・平成29年度白石市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)の計2議案について、定例会2日目(6月13日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・澁谷政義、副委員長・保科善一郎)は、6月14日に審査を行い、その結果、すべての議案について全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎平成29年度白石市一般会計補正予算(第1号)

総務費

用を認めていただいております、あわせて処理することによって運搬費などの軽減が見込めることから、今回計上したものである。

〔質疑〕ポリ塩化ビフェニル(PCB)の廃棄物処理について、今回の補正予算に計上した理由を伺う。

〔答弁〕平成29年3月に健康センター内にあるトランスを検査したところ、低濃度のPCBが見つかった。

平成29年度当初予算において、白石第一小学校に保管している低濃度PCBの処理費

〔質疑〕白石城イルミネーション整備工事について、単年度のものなのか、固定的に設置し続けていくものなのか伺う。

〔答弁〕この工事は、新たな観光客を呼び込むため、白石城周辺にイルミネーションを設置し、12月頃に冬の幻想的な城下町の雰囲気演出するもので、毎年継続的に行う予定である。

民生費

〔質疑〕子どもの貧困対策実態調査・分析業務委託について、どのような形でアンケートを実施するのか伺う。

〔答弁〕アンケートの実施方法については、保護者と子どもがそれぞれアンケートに回答していただく。

全校の児童・生徒ではなく、より精度の高い調査結果が得られるよう関係各課による検討組織で協議しながら、実施する予定である。

今年度は、アンケート結果に基づき、貧困の状況にある家庭の実態把握と支援ニーズの調査分析を行う予定である。

抽出については、小学校、中学校からいくつかの学年を特定し、その学年全員を対象にして実施していきたいと考えている。

〔質疑〕子育て支援・多世代交流複合施設整備工事について、工事の内訳を伺う。

〔答弁〕工事請負費には、大型遊具を含む附帯設備が5千

10万円含まれており、それと建物を含めた金額が3億6千620万円となっている。

遊具の詳細は、まだ決まっていないが、ゼロ歳から2歳までのエリア、3歳から5歳までのエリア、6歳から12歳までの小学生エリアという3つのエリアに分けての設置を考えている。



予算審査特別委員会の現地調査(旧学校給食センター)

衛生費

〔質疑〕放射能汚染対策事業について、大鷹沢地区、八宮・深谷地区で保管している焼却灰が再測定の結果、基準値を下回ったことから、指定廃棄物の指定解除が可能となったが、今後の工程について伺う。

〔答弁〕平成29年6月1日に環境省東北環境事務所へ指定解除の申し出をしたところである。

今後、指定解除の決定がなされた後に、国の財政支援の手続及び工程について国と協議のもと、決定されることとなっている。

商工費

〔質疑〕みちのくおとぎ街道インバウンド推進事業を含む3つのインバウンド推進事業委託について、具体的な内容を伺う。

〔答弁〕まず、みちのくおと

ぎ街道インバウンド推進事業として、台湾プロモーション参加業務、インバウンド受け入れ環境整備業務、インバウンド研修業務、インバウンドツアー業務、甲冑試着体験業務などの委託を予定している。

次に環蔵王インバウンド推進事業として、台湾プロモーションブースの出展業務、参加業務の委託を予定している。

最後に白石蔵王インバウンド推進事業として、多言語観光ホームページの作成情報発信業務、インバウンド受け入れ研修業務を予定しており、本市と蔵王町、七ヶ宿町、山形県山形市、上市市、南陽市、高畠町による3地域連携のそれぞれの業務によりインバウンドの推進を図りたいと考えている。

そのほとんどがソフト事業となっているが、ハード面として、甲冑、着ぐるみなどの備品購入費509万2千円も含まれている。

◎平成29年度白石市国民健康保険特別会計補正予算
(第1号)

〔質疑〕平成30年度に開始される国民健康保険の県単位化に向けた現在の準備状況と今後の予定を伺う。

〔答弁〕現在、県では納付金等の算定について準備作業を行なっている。

今後は、納付金の算定に係る仮係数が10月ごろに示され、その後、平成30年1月に納付金及び標準保険料率が確定する予定となっている。

〔質疑〕県単位化に向け、県では納付金等の算定を行なっているとのことだが、本市としても試算などは行なっているのか伺う。

〔答弁〕医療費水準や所得水準等を反映させる係数の調整、あるいは国が約束している公費の追加投入、激変緩和措置などがどの程度配分されるかについては、まだ不明であり、詳細について試算できる段階にはなっていない。

賑わい交流拠点整備イメージ図（白石市福岡長袋字八斗蒔地内ほか）

現況（整備前）

【白石市】

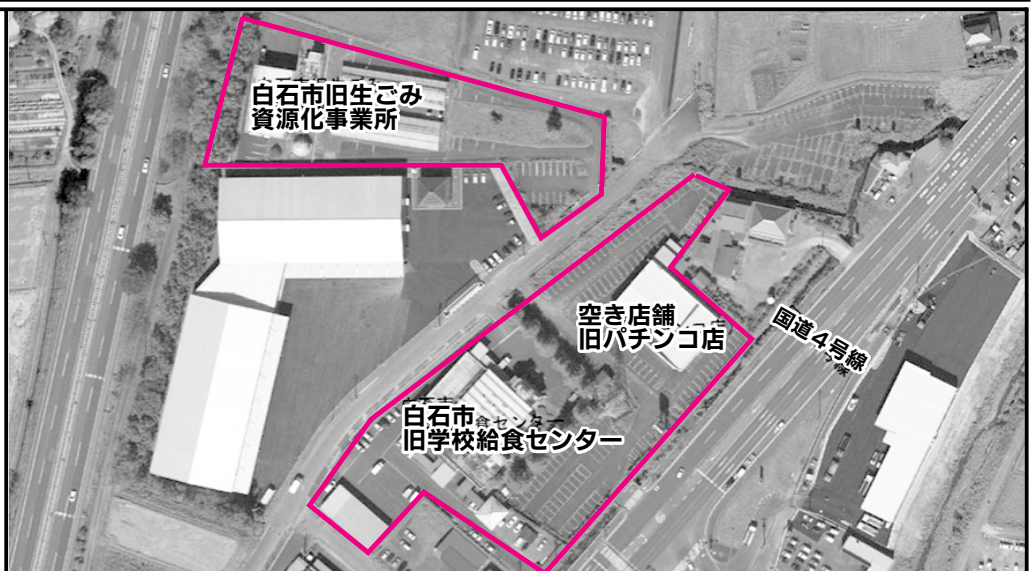
- 旧学校給食センター
5,257.02㎡
- 旧生ごみ資源化事業所
6,044.93㎡

【民間施設】

- 旧パチンコ店舗
5,338.27㎡

【合計敷地面積】

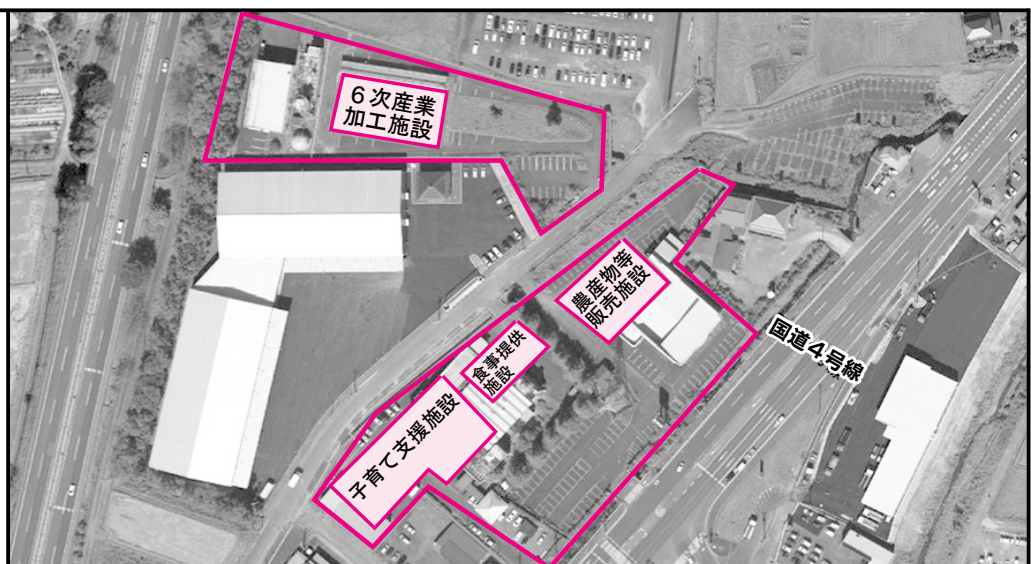
16,640.22㎡



主な整備計画（案）

- 子育て支援施設
- 農産物等販売施設
- 食事提供施設
- 6次産業加工施設

※平成29年6月時点の計画案です。今後、施設の位置などは、変更される場合があります。



市政に対する一般質問

〓〓9名の議員が質問〓〓

6月定例会の一般質問は、6月19日・20日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

菊地 忠久 白石市の財政状況について

他

管野 恭子 食品ロス削減について

他

佐藤 龍彦 就学援助制度の拡充について

他

保科善一郎 本市の産業基盤の整備について

沼倉 啓介 障害者差別解消法への取り組みについて

佐藤 秀行 弥治郎こけし村リノベーション事業について

他

松野 久郎 公民館単位のまちづくりについて

他

四竈 英夫 企業誘致について

他

伊藤 勝美 ため池の防災・減災対策について

他

白石市の財政状況について

菊地 忠久



なり得る。

財政状況についての所見を伺う。

〔質問〕財源不足により、本年度当初予算で市の貯金である財政調整基金から13億6千万円を一般会計に繰り入れた。現在の主要3基金の残高を伺う。

〔答弁〕〔財政課長〕平成29年6月補正前の時点で、財政調整基金が11億5千373万6千円、減債基金が3億5千987万8千円、都市整備基金が14億5千46万9千円である。

〔質問〕財政調整基金の残高が約11億5千万円なので、仮に来年度の予算編成を今年度と同規模で財政調整基金から13億6千万円の繰り入れを行おうとすると、財源不足から予算編成ができない状況に

徹底した見直しを行う。

目先のことだけではなく、将来的なビジョンを描きながら予算の編成をしていきたい。

〔質問〕補助金交付事業について、ゼロベースで根本的に見直す必要があると考えますが、所見を伺う。

〔答弁〕〔市長〕補助金ありきの事業になっていないか、しっかりと見ているし、担当部課長にも指示をした。

各団体の会計において、ほとんど繰り越しとなっていたり、総事業費の中で補助金の占める割合が非常に多く、補助金なしではそもそも活動ができないというものについては、それぞれの関係者と話をしながら事業の縮小や見直しをしていく必要があると考える。

〔その他の質問〕
◎総合型地域スポーツクラブについて

食品ロス削減について

菅野 恭子



【質問】日本における食べられるのに廃棄される食品は、年間632万トンと推計され、その削減が喫緊の課題である。

そこで、本市における食品ロス削減対策の一環として、①環境省が普及啓発に努める会食等での「30・10食べ切り運動」の推進、②食品ロス削減の重要性を、住民に分かりやすく周知していく等の取り組みを検討すべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁】【市長】①国は食品ロス削減国民運動の推進と食品リサイクル法に基づく新たな基本方針を策定し、内閣府等の6府省庁では、食品ロス削減の調査研

究や普及啓発運動を展開している。また、各自治体においても「30・10食べ切り運動」が推進されている現状を踏まえ、啓発活動を検討していきたい。

②「30・10食べ切り運動」の普及に取り組むとともに各家庭への周知や食育を含め、検討したい。また、国の施策や先進事例の収集にも努めていきたい。

◎ヘルプカードの作製・交付について

【質問】先般、政府は東京都が考案した「ヘルプマーク」を、今年7月に国内規格（JIS）に追加する事を発表した。東京都では東日本大震災後の平成24年10月より、障がいを持つ方、妊娠している方等を対象にヘルプマークを活用したヘルプカ

ードの交付を開始した。

特に外部から分かりにくい障がいを持している方の支援に有効であることから、全国の自治体にもその導入が広がっている。

本市においてもヘルプマークを活用したヘルプカードの作製・交付を実施し、支援を必要とする方々への一助にすべきと考えるが、見解を伺う。

【答弁】【市長】ヘルプマークのJIS登録は当マークの全国周知になる。

活用によって、支援や配慮が必要な方々に対する周囲の気づきや、思いやりのある行動が期待できることから、本市においてもヘルプカードの作製・交付について検討していきたい。

【その他の質問】
◎「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」参加について

就学援助制度の拡充について

佐藤 龍彦



【質問】就学援助制度の現状を伺う。

【答弁】【教育長】平成28年度において、要保護世帯は6世帯、準要世帯は208世帯、合計で214世帯である。全体に占める割合が11%となっている。

【質問】就学援助制度の拡充を図り、入学準備金の前倒し支給を検討できないか伺う。

【答弁】【教育長】実施状況など、情報を集めながらできるかどうかを検討していきたい。

◎校納金について

【質問】義務教育にかかる費用として、校納金を銀行引き落としにした場合、手数料がかかることに對しての教

育長の考えを伺う。

【答弁】【教育長】非常に難しい問題である。校納金を銀行から引き落としにするかどうかは、各学校で決定している。

よって、教育委員会として、収納方法等について何ら決定する力もない。また、口出しをすべき問題でもないと考えている。

【質問】校納金の銀行手数料相当分を市で補助することはできないか伺う。

【答弁】【教育長】現金で集金している学校もあれば、口座引き落としの学校もあるため、手数料等については、市として補助することは考えていない。

◎放射能指定廃棄物の指定解除について

【質問】本市が放射能指定廃棄物の指定解除を申請することにした理由を伺う。

【答弁】【市長】指定廃棄物の仮置き場のある地区の皆さんから、一刻も早く廃棄物をなくしてほしいとの声を多数いただいている。

このことから、大鷹沢地区と八宮・深谷地区で放射性セシウム濃度が指定基準を下回っているものについて、今回、指定解除を申請したところである。

【質問】指定解除後の予定はどのようなものか伺う。

【答弁】【市長】指定解除決定後、国の財政支援の手続きに入り、そのめどが立った後、具体的な処分と原状復帰、契約手続きを予定している。

工程及び工期については、指定解除が決定された後、国と協議をして検討していく。

本市の産業基盤の整備について

保科善一郎



〔質問〕平成29年3月27日発表の宮城県市町村民経済計算によると、平成26年度の白石市の市内総生産額は、1千63億円で県内16位となっている。これは平成16年度と比べ、79億円減少している。特に製造業が83億円減少しているのが目立つ。

人口、就業者数の減少が進む中、本市の経済産業が低迷している要因をどのように分析しているのか伺う。

〔答弁〕【市長】ハローワーク白石の有効求人倍率を見ると一般正規雇用で1.07倍と、職種を選ばなければ働く場の確保は整っていると認識している。

また、市内総生産の動向だけで一喜一憂するのは危険であり、世界経済情勢の変化にも目を向ける必要がある。

東日本大震災から6年が経過し、震災前と同程度の水準に回復してきているので、正規雇用の環境づくりが今後重要であると考えてる。

〔質問〕市長は、施政方針及び2月定例議会の一般質問でトップセールスを行うと表明されている。そこで平成29年度の企業誘致活動について伺う。

〔答弁〕【市長】平成29年度の企業誘致活動は、まだ2か月半であり、目立ったものはない。活動については、私みずからトップセールスマンとしてPRを

していくことや企業立地セミナーの積極的参加、本社訪問の他、市内立地企業の定期的な訪問により情報の共有化を図っていくことを考えている。

〔質問〕本市は今般、スマートインターチェンジの設置推進に動き始めた。

具体的には設置に伴うランドデザインを描いて、基幹産業として高付加価値型の製造業の集積を図ること、地域資源を活用した交流人口の拡大を通じ、企業が活動しやすい環境、基盤の整備を図ることが肝要と思うが、市長の所見を伺う。

〔答弁〕【市長】スマートインターチェンジの設置に伴うランドデザインは非常に必要なものと考えている。

周辺のインフラ整備においては、商業エリア、工業エリア、住居エリアなどのバランスを考慮して、地域の誇れる資源を活用していきたいと考えている。

障害者差別解消法への取り組みについて

沼倉啓介



〔質問〕平成18年12月に障害者権利条約が国連でつくられ、これを批准することを加速するためには、差別禁止の法律が必要であるとして、国会で障害者差別解消法が成立し、平成28年に施行された。

これらは、障がいによる理由に差別的取り扱いや権利侵害をしてはいけないこと、社会的障壁を取り除くための合理的な配慮をすることなどを定めている。

障がいを持っていても安心して暮らせるまちの実現を目指しているこの解消法に、本市ではどのような指針で向き合おうとしているのか。

〔答弁〕【市長】本市においては、法や基本方針の趣旨にのっとり、本年2月に職員の対応要領及び対応要領に係る留意事項を制定し、職員に徹底をしているところである。

〔質問〕障がいの苦しさをよくお分かりになる首長だからお聞きするが、本市が行政の責務の遂行のため、障がいをお持ちの方たちに対し、どのような具体的な取り組みをしている

〔答弁〕【市長】第2期白石市障害者計画及び第4期白石市障害福祉計画が最終年度を迎えることから、次期計画の策定にあたっては、障がいをお持ちの方、サービスに関わっている方の声をお聞きし、

新しい計画をつくっていくことが一番重要だろうと考えている。

行政として、その計画に沿って施策を展開していくことは当然であり、障がいをお持ちの方が困っていた時に自然に手を差し伸べることができるような社会の形成が必要である。

そんな温かい白石市になれるように、行政としてやることを全力で進めていきたいと考えている。

〔質問〕本市の聴覚平衡機能障がい者117人の声を代弁しお尋ねする。本市で実施しているインターネット中継のときに手話通訳を導入していただけないか。

〔答弁〕【市長】議員のお気持ちは痛いほど理解をしているつもりであるが、やはり、議会改革推進会議の中で議論いただいて、その結果を再度、報告いただければと考えている。

弥治郎こけし村リノベーション事業について

佐藤 秀行



〔質問〕地方創生拠点整備交付金事業・弥治郎こけし村リノベーション事業にかける市長の思いを伺う。

〔答弁〕【市長】こけしの伝統技術を後世に引き継ぐことと地場産業の振興を目的に、平成6年に弥治郎こけし村を整備し、施設の運営に当たってきている。

弥治郎こけし村は地域ブランド化の確立のための施設、地域資源を結ぶ結節拠点へと進化させ、白石市の魅力を発信する拠点となつてほしいと考えている。

◎分校の利活用について

〔質問〕分校4校が休校状態にある。地元自治会が維持管理のため、草刈り等を年数回行っ

ているが、今後高齢化が進み、その負担はさらに大きくなってくる。このことについての所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】自治会長からは、草刈りなどが大変であると聞いている。また、樹木が非常に多過ぎてこの処理等も何らかの形で考えなければいけない。今後の課題として捉えていく。

〔質問〕休校している4分校の今後の活用、対応等について伺う。

〔答弁〕【教育長】地域の方々と話し合いを持つて廃校措置に持つていかなければと思う。その後の活用については、今後、市長部局と検討しながら方針を出していくことになる。

◎白石川緑地公園陸上競技場について

〔質問〕河川敷に設置されているトイレ2基について、利用者からもきれいな新しいトイレを望む声が多く聞かれる。改築等についての所見を伺う。

〔答弁〕【市長】当面は必要に応じて修繕を行う。今後、外観の塗装を検討するとともに、移動が可能である衛生的な簡易水洗トイレの更新を検討したいと考えている。

〔質問〕毎年、白石刈田地区中学校陸上大会が、トラックが土質のこの競技場で行われる。生徒の記録の向上、先生方の運営上の負担軽減等のため、全天候舗装型の他の競技場での開催を考えてみてはどうか所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】本市に公認の陸上競技場があるので、他の市、地区で開催することは考えられない。教育的な効果もあるので、この競技場で続けてほしいと思う。

公民館単位のまちづくりについて

松野 久郎



〔質問〕白石市全体が元気に、そして人口減少に歯止めをかけるには、各地域が元気になることが重要と考える。今後の公民館単位のまちづくり等について、先日、白石笑顔未来塾が開催され、大好評だった。今後も開催の予定があるのか伺う。

〔答弁〕【市長】大変好評を得たので、第2回目として、8月27日、日曜日に開催することが決定している。

〔質問〕開催に当たっては、グループ討議もあると思うので、地区ごとにまとまった席を設けてはいかがか伺う。

〔答弁〕【市長】地区ごとに議論を深めるためにも、次回開催時には、

そういったことにも配慮しながら、グループ配置を検討していく。

〔質問〕各地区のまちづくりの取り組みが地方創生の対象事業となる事業として、交付金の確保等も可能にする仕組みが必要と考えるが、所見を伺う。

〔答弁〕【市長】地方創生推進交付金の交付対象に小さな拠点整備事業がある。

各地域の皆さんの力を主体的に発揮していただく、交付金の活用等による持続可能な地域の実現を目指したいと考えている。

〔質問〕本市のまちづくり交付金制度は、前年度の2月までに年1回の申請となっているが、年度途中でもタイムリーに受け付けるよ

う制度運用のあり方を変更してはどうか伺う。

〔答弁〕【市長】まちづくり交付金は、年度内に事業が終了するものが対象であり、4月1日から事業が開始できるように配慮している。予算措置している交付金が有効活用されるよう、さまざまな角度から検討していく。

◎学校給食について

〔質問〕学校給食について、食物アレルギーへの対応状況や児童・生徒の評判、食の安全への取り組みを伺う。

〔答弁〕【教育長】食物アレルギー対応について、現在対象となつて

いる児童は3名で、児童・生徒の評判は非常にいいと思っている。食の安全等についても、業者と密に連絡をとり確認を行っている。

【その他の質問】

◎ふれあいサロン事業について

◎小学生学力調査について

企業誘致について

四 竈 英 夫



〔質問〕今般、深谷地区に新たな企業誘致が実現することとなり、用地造成が開始されたことは喜ばしいことである。

この企業誘致は、本市からの働きかけによるものか、企業からの引き合いによるものか伺う。

〔答弁〕〔市長〕本用地は、白石市土地開発公社が先行取得をして造成しているが、まだ売買契約には至っていないため、詳細は控えさせていただきます。

〔質問〕造成の規模や企業の業種についても公表できないか。

〔答弁〕〔企業立地定住促進課長〕面積は4筆で約7千㎡である。こ

れ以上の答弁は控えさせていただきます。

〔質問〕今後の企業誘致活動方針を伺う。

〔答弁〕〔市長〕私みずからのトップセールスによるPRと企業訪問、市内立地企業との情報共有を図り、用地についてはオーダーメイド方式を基本とし、状況によっては工業団地の造成も念頭に置いて慎重に進めて行きたい。

◎旧小原中学校跡地の活用について
〔質問〕旧小原中学校は平成5年に小原小学校と合併移転し、その跡地は利用されないままとなっている。

この跡地をグラウンドゴルフのコートやその他スポーツ・レクリエーション施設に整備してはどうか。

〔答弁〕〔市長〕当該跡地は普通財産として管理しており、貸し付け・

売買などにより経済的価値を高める財産であるため、スポーツ施設として整備する予定はないが、地元の皆さんがぜひ活用したいということであれば、相談させていただきます。

◎校内いじめ対策について
〔質問〕本市における校内いじめはないと認識しているが、それらに類似したこともないのか伺う。

〔答弁〕〔教育長〕いじめがないわけではない。平成28年度では小学校で8件、中学校で11件、冷やかしかしや悪口等があったが全て解消している。

今年度は5月で小学校2件、中学校3件あり、解消したものと指導継続のものがある。

◎その他の質問
〔質問〕学校における防災訓練について

地は普通財産として管理しており、貸し付け・売買などにより経済的価値を高める財産であるため、スポーツ施設として整備する予定はないが、地元の皆さんがぜひ活用したいということであれば、相談させていただきます。

ため池の防災・減災対策について

伊 藤 勝 美



〔質問〕ため池は、農業用水の供給に加え、自然環境の保全など多面的機能を持つ施設である。しかし、地震や豪雨などの災害により決壊すると、下流域に多大な被害をもたらすことから、防災上においても重要な施設と考えるが、現在の整備状況を伺う。

〔答弁〕〔建設産業部長〕地元水利組合から修繕等の要望があった場合、随時、現地確認などを行い、直営費により対応している。また、洪水や豪雨に備えて非かんがい期の落水や低水位管理を呼びかけ、防災・減災に努めている。

〔質問〕ため池の耐震整備には多額の費用と時間を要すると思うが、整備についてどのようなことを考えているのか伺う。

〔答弁〕〔市長〕防災重点ため池を中心に、白石市土地改良区、水利組合との連携のもと、現状把握に努め、県とも相談しながら県営ため池整備事業の採択も視野に入れて取り組みたいと考えている。

〔質問〕大雨や地震等により堤体が決壊した場合、直ちに住民が避難行動をとれるよう、浸水予想区域や避難場所等の避難活用情報を記載した「ため池ハザードマップ」を整備すべきではないかと考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕防災重点ため池については、県によるハザードマップ作成支援を希望しているところであり、作

成後は市ホームページ等で地域住民へ情報提供したいと考えている。

◎米の生産調整について

〔質問〕平成30年度からは、国は配分を廃止し、農家やJA等が販売状況や経営戦略に基づいて生産量を決定する仕組みに変わることになるが、生産調整についての見解を伺う。

〔答弁〕〔市長〕過剰作付への抑止力低下に伴う米価下落の懸念から、当面の間、宮城県農業再生協議会が県産米の在庫、契約状況、認定方針、需要見込み等を踏まえた宮城県水田農業推進方針を策定、提示する。市としては、提示された目標を踏まえた方針を生産者に提示する予定である。

◎自治会未加入世帯について

〔質問〕「30・10」運動の普及啓発について

「開かれた議会を目指して」 市民と議会の意見交換会

議会では、平成26年12月定例会において議会基本条例を制定し、平成26年度から『市民と議会の意見交換会』を開催しています。

この意見交換会は、議会の報告と市民の皆さまとの意見交換を行う場として、重要な位置付けをしております。

今回開催した第3回目の意見交換会は、3月22日から24日までの3日間、議員が3班に分かれて各公民館（9会場）で開催しました。

のべ144人の市民の皆さまの参加により、たくさんの方の貴重なご意見・ご要望をいただきました。

その内容は、「議会に関すること」が11項目、「市政の課題に関すること」が109項目でした。

その一部をご紹介します。

議会に関すること

○意見交換会について

・意見交換会の資料について、映像を使ったりするなど、目で見て分かるような工夫をして欲しい。

・市民の声を市政に反映させるために、意見交換会の回数を増やして欲しい。

○議会の活動について

・人口が減少していく中で、議員には将来をしっかりと見据えて活動してもらいたい。

市政の課題に関すること

○地方創生について

・市内の商店街が活性化できないような新たな取り組みはないのか。

○観光について

・鬼小十郎まつりは来場者が増えているようだが、今後どのような取り組みを考えているのか。

○鳥獣被害について

・イノシシなどの鳥獣被害対策は、他の自治体との連携が必要ではないか。また、国に対して支援を要請した方がよいのではないか。

○環境について

・空き家についてだが、倒壊家屋が通路に倒れるなど、地域の生活に影響している。空き家調査の結果など情報提供をして欲しい。

○公立刈田総合病院について

・夜間になると開業医の対応が難しくなる。刈田病院での救急診療体制を充実させて欲しい。

○地域コミュニティについて

・自治会運営や地区の草刈りなどインフラの維持は年々難しくなっており、住民の

○福祉について

不安も大きい。地区の若い世代も高齢化が進む中で、対策をどのように考えているのか。

・団塊の世代が高齢化してきており、車による事故も増加している。高齢化による認知症対策などについて、どのような施策を実施していくのか。



中央公民館での様子（意見交換会）

第3回市民と議会の意見交換会 報告書について

今回行われた『第3回市民と議会の意見交換会』の報告書は、意見交換会終了後に市当局に調査を行い、議員みずからまとめております。

この報告書は、当日会場となりました各公民館に備え付けてあります。

また、市議会のホームページでも公開しておりますので、ご覧いただくことができます。

議会では、意見交換会でいただいた市民の皆さまからの声を、議会の活動や市政の発展につなげるため、取り組んでまいります。

この意見交換会は、継続して開催していきますので、今後とも、市民の皆さまのご指導をよろしくお願いいたします。

第 4 2 5 回 市議会定例会			意見が分かれた議題の賛否一覧																
議員氏名 件名	採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		佐藤 龍彦	保科 善一郎	伊藤 勝美	澁谷 政義	沼倉 啓介	平間 知一	管野 恭子	佐久間 儀郎	大野 栄光	大町 栄信	四竈 英夫	小川 正人	菊地 忠久	佐藤 聡一	佐藤 秀行	松野 久郎	山谷 清	志村 新一郎
議長辞職の件	否決	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	副議長	○	○	○	欠	○	○	棄	○

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「棄」⇒採決を棄権
議 長⇒自らの案件のため退席し、採決には加わらない。(地方自治法第117条の規定による)
副議長⇒退席した議長に代わり議題を進行する。採決には可否同数の場合にのみ加わる。

人事

6月定例会において、次のとおり任命・推薦することに同意しました。

〔農業委員会委員〕

(任期…平成29年7月20日～平成32年7月19日)

村上さき氏
佐久間純一氏
吉川淑子氏
佐藤徳治氏
日下正彦氏

議会を傍聴してみませんか！

9月定例会は、9月6日(水)
午前10:00開会予定です。

また、インターネットで議会中継の視聴もできます。

●6月定例会の傍聴者数 18人
●ライブ中継視聴者数 907人

議員表彰

去る5月24日に開催された第93回全国市議会議長会定期総会において、次の方が表彰されました。

◎特別表彰
(議員在職20年以上)
小川正人 議員

〔人権擁護委員〕

(任期…平成29年10月1日～平成32年9月30日)

佐藤裕美子氏
齋藤重雄氏
齋藤國一氏
半澤幸男氏
佐藤良夫氏
阿部祥夫氏
江戸千佳雄氏
保科清八氏
木須敏文氏

議会広報委員会委員

◎一般表彰
(議員在職10年以上)

平間知一 議員
管野恭子 議員
佐久間儀郎 議員
大野栄光 議員
大町栄信 議員
志村新一郎 議員

議会広報委員会委員



恭一 龍彦 信夫 久行 久
聡 善 英 忠 秀
佐藤 保科 大町 菊地 松野
管野 佐藤 佐藤 大町 菊地 松野
委員長 委員長 委員長 委員長 委員長
委員 委員 委員 委員 委員
副委員長 副委員長 副委員長 副委員長 副委員長

編集後記

九州豪雨でお亡くなりになりました方のご冥福と被災に遭われました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。
今年は、梅雨入り後も雨が少なく、ラニーニャ現象の影響なのか、猛暑が続いております。また、地震も頻繁に発生するなど天災が続く今日です。今後は天災が無いことを祈るばかりです。
さて、私たち市議会議員の任期も折り返しを迎えました。市議会では、常に時代に対応した議会を目指して、一層の議会改革に取り組みとともに、より市民の皆さまに開かれた議会運営を推進するよう努めていきます。

「議会だより」も、議会情報を市民の皆さんに分かりやすくお伝え出来るよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

議会広報委員会
松野久郎